

信濃川下流河川事務所の 令和8年度の主な事業について

国土交通省 北陸地方整備局
信濃川下流河川事務所

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で水災害に対応する「流域治水」へ転換します。
- 河川、下水道、砂防、海岸等の管理者が主体となって行う治水対策に加え、水田、校庭、民間施設、国有地等も活用した雨水貯留等、府省庁・官民が連携したあらゆる対策の充実を図ります。

～流域治水への転換イメージ～

従来の治水

役割分担を明確にした対策

河川、下水道、砂防、海岸等の**管理者主体のハード対策**

河川区域等が中心の対策

河川区域やはん濫域において対策を実施

治水対策を
転換

気候変動
社会動向の変化

「水防災意
識社会」の
再構築

流域治水

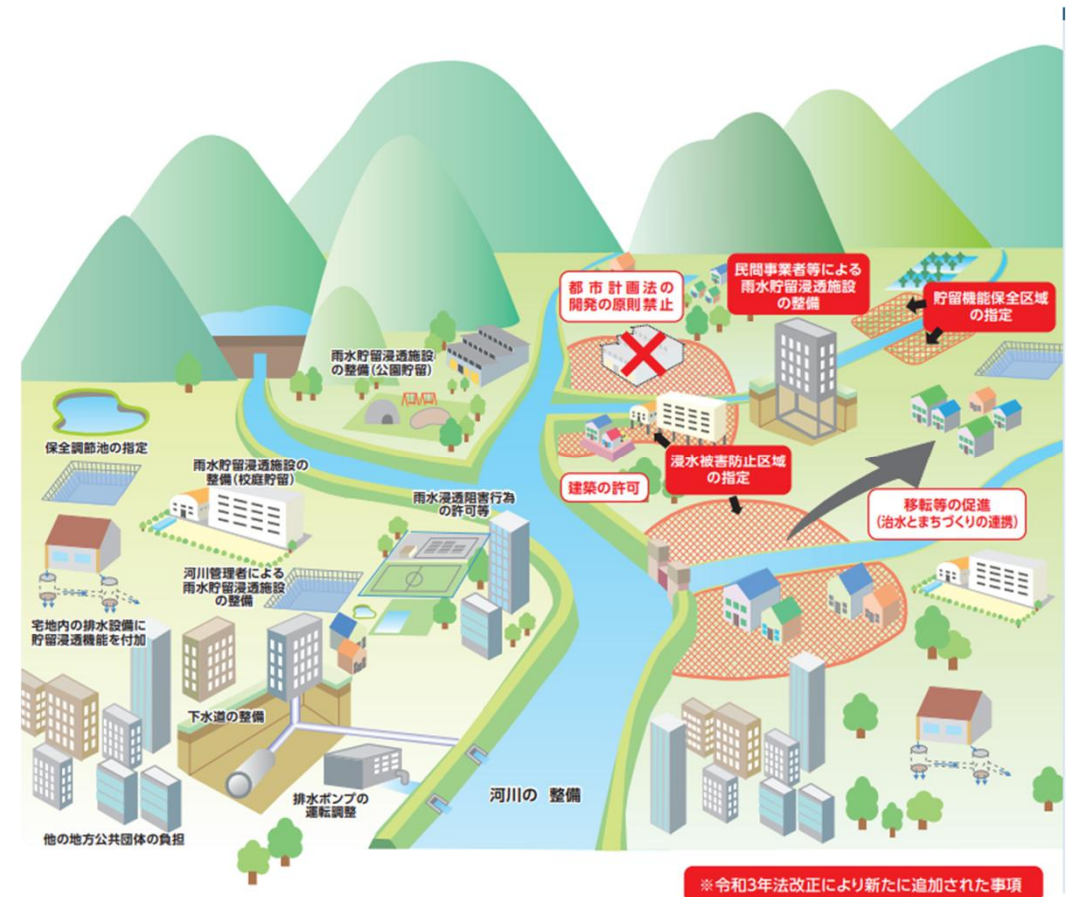
あらゆる関係者の協同による対策

国・都道府県・市町村、企業・住民など**流域全体のあらゆる関係者による治水対策**

あらゆる場所における対策

河川区域やはん濫域のみならず、集水域を含めた流域全体で対策を実施

防災・減災が主流となる社会



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」

- ※集水域…雨や雪が地表を流れて川に流れ込む範囲。流域ともいう。
- ※遊水地…川に隣接した低地で、洪水を流入させ湛水するような土地。洪水の一部を一時的に貯留して下流の水位を低下させる。

○ 令和8年度の信濃川下流河川事務所の事業費は **約29億円** です。

(単位：百万円)

費目	令和7年 当初 ①	令和7年 補正	令和8年 当初 ②	伸率 ②/①
一般会計				
河川整備事業費（河川）	2,190	2,794	2,323	
河川改修費	814	1,265	878	
河川維持修繕費	1,376	1,453	1,384	
河川工作物関連応急対策費	-	76	61	
海岸事業費	615	621	544	
海岸保全施設整備事業費	615	621	544	
河川等災害関連事業費	-	-	-	-
河川等災害復旧費（河川）	-	-	-	-
河川等災害復旧費（海岸）	-	-	-	-
合計	2,805	3,415	2,867	1.02

※上記の他、受託工事費(附带)及び工事諸費等がある。

※各合計値はそれぞれ百万円未満を四捨五入しているため、端数において一致しないものがある。



新潟海岸金衛町工区
ヘッドランド整備
(新潟市中央区)

新潟大堰ゲート設備修繕
(新潟市西区)

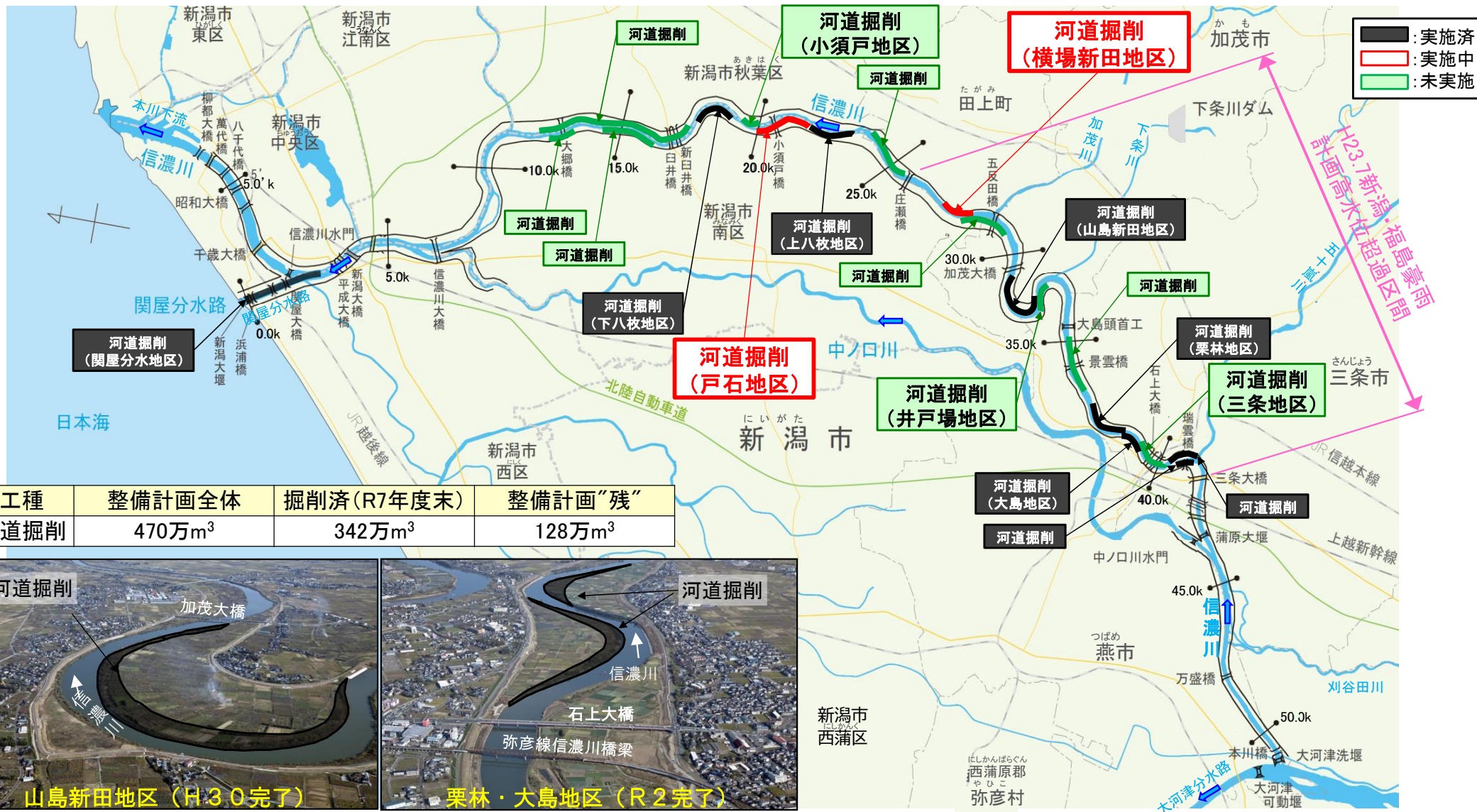
小須戸橋架替
(新潟市秋葉区・南区)

横場新田地区
河道掘削(田上町)

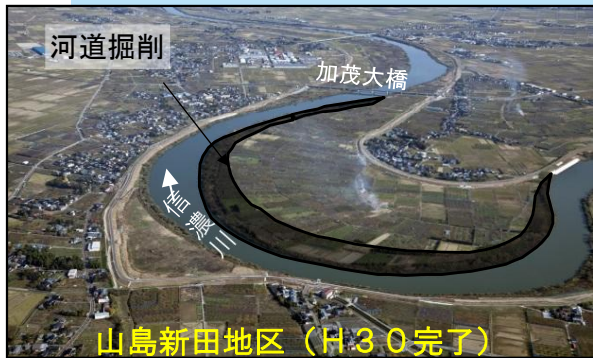
- : 改修事業
- : 維持修繕事業
- : 海岸事業

河道掘削の進捗状況

- 平成23年7月新潟・福島豪雨で計画高水位を超過した区間の水位を低下させるための河道掘削は令和2年度までに完了しました。
- 河川整備計画規模の洪水を安全に流下させるため、引き続き流下能力が低い区間から順次、河道掘削を実施しています。



工種	整備計画全体	掘削済(R7年度末)	整備計画“残”
河道掘削	470万m ³	342万m ³	128万m ³



○ 田上町横場新田地区において、加茂川等の支川合流部における洪水時の水位を低減し、洪水を安全に流すため、約69万m³の河道掘削を行っており、令和8年3月末現在で約7割まで進捗しています。



: 令和8年度掘削箇所 : 全体掘削予定範囲

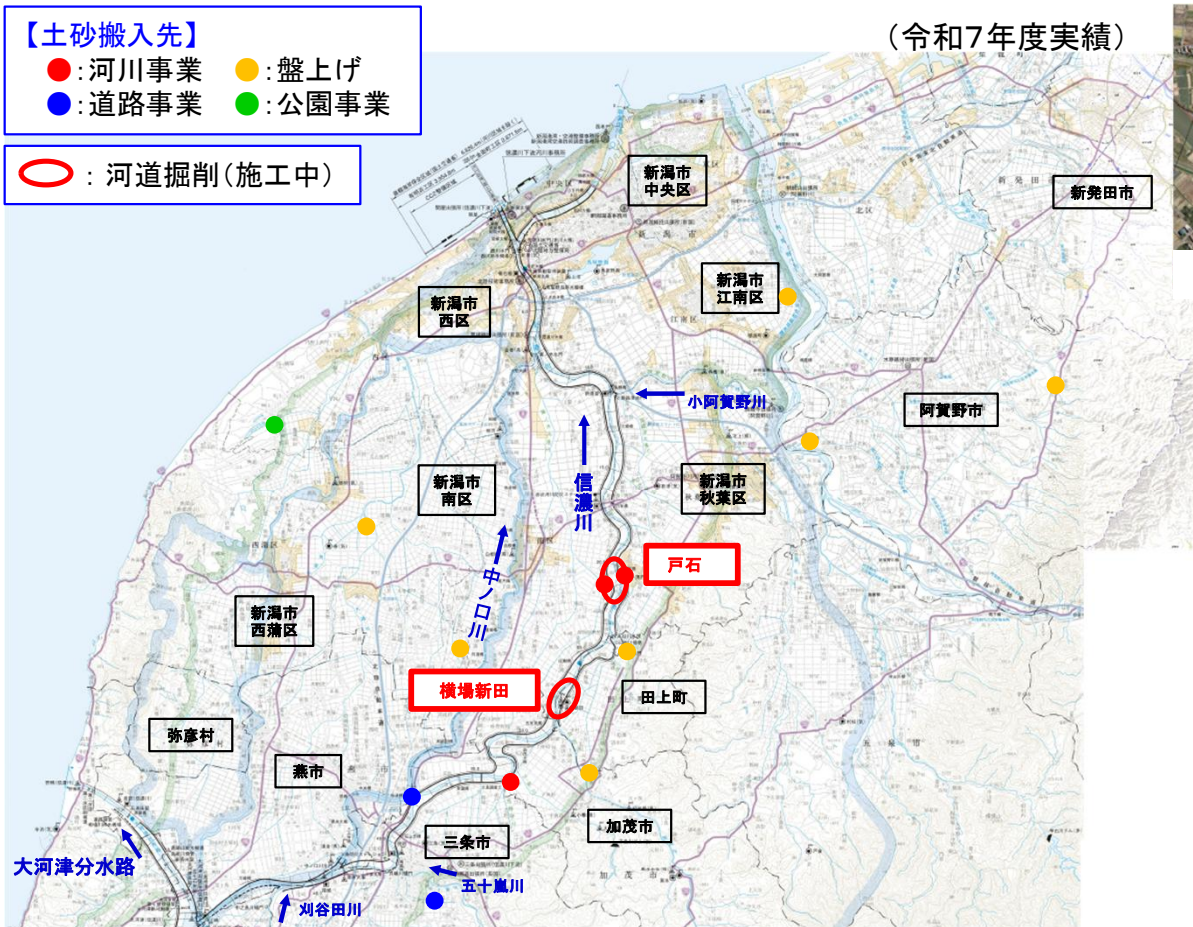
河道掘削の効果(事業連携、環境創出)

- 掘削した土砂は、農地、圃場整備や道路等の盛土に活用しています。
- 河道掘削とあわせて湿地環境を再生し、トキ・白鳥等の多様な生物が住める環境の創出に努めます。

【土砂搬入先】

- : 河川事業
- : 盤上げ
- : 道路事業
- : 公園事業

○: 河道掘削(施工中)



掘削前(H28)



掘削後(R3)



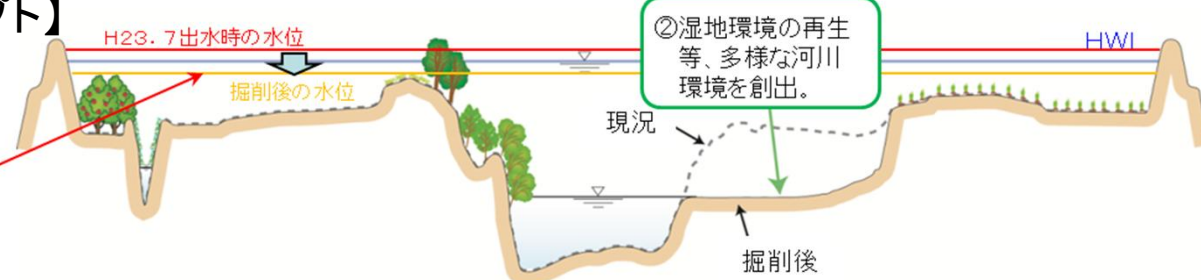
確認された白鳥(R7撮影)



環境に配慮した施工箇所の工事後の状況(栗林・大島地区)

【河道掘削のコンセプト】

①水の流れる断面積を広げ、洪水時の水かさを下げる。



- 現小須戸橋は、もぐり橋のため洪水の流下阻害となっており、また、右岸側取付部の堤防では、周辺の堤防と比べて高さが不足しています。
- 道路管理者である新潟市との共同事業として、令和2年度に小須戸橋の架替事業に着手し、令和16年度完成を目指して進めています。
- 令和8年度は、左岸の盛土工事及び右岸の地盤改良工事、P5橋脚工事を実施します。



新潟海岸(金衛町工区) ヘッドランド整備 【工事実施中】

○ 海岸の侵食対策として、引き続き、金衛町第1工区の中央ヘッドランドを整備します。また、第2工区の砂浜を復元する養浜工事を進めています。これらの対策により、波の打ち上げ高さを低減させ、背後地の安全度を向上させます。



※ヘッドランドとは、T型または逆L型の人工岬 ※人工リーフとは、人工的に造られた浅瀬

- : 施工済み箇所
- : R8施工箇所
- : 施工予定箇所

① 1. 構造物撤去工 (既設ブロック撤去)

② 2. 突堤基礎工 (アスファルトマット敷設)

③ 3. 突堤本体工 (捨石投入)

④ 4. 突堤本体工 (海岸コンクリートブロック据付)

ヘッドランド施工順序



大規模河川管理施設の維持補修

- 信濃川下流には大規模な河川管理施設(堰、水門、排水機場)が多くあり、中には、完成後50年以上が経過し、老朽化が進行している施設もあります。
- これらの施設が洪水時等に的確に機能を発揮するため、長寿命化計画に基づいて点検・補修を実施します。

堰・水門



新潟大堰 主ゲート ワイヤロープシーブ(滑車)の交換



蒲原大堰・中ノ口水門

排水機場



西川排水機場



鳥屋野潟排水機場

排水機場のポンプを点検し、場合によっては必要な整備を行い、出水に備えます。

堤防・護岸等河川管理施設の維持・補修

- 河川管理施設の状況把握等を目的として、定期的な河川巡視・点検を実施します。
- 堤防点検や河川の把握等のための除草を計画的に実施します。
- 異常が発見された護岸・管理橋等の河川管理施設の補修を実施します。

河川管理施設の巡視・点検



河川巡視



施設点検

堤防の管理



堤防除草(ロングリーチ)



堤防除草(芝刈り機)

護岸等の補修



護岸の沈下



護岸補修作業

河川管理についてもっと知りたい方は

河川維持管理等の取組みは「信濃川下流 河川管理レポート」で公表しています。
 また、河川巡視で発見された不法投棄について、「ごみマップ」に取りまとめて公表しています。

詳細は信濃川下流河川事務所ホームページをご確認ください。

URL : <https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/index.html>

水門・樋門の点検・補修



山田川樋門 扉体点検



下八枚雨水排水樋門 開閉装置点検



信濃川下流 河川管理レポート 2024
 ～地域の安全と水辺環境を守ります～

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所

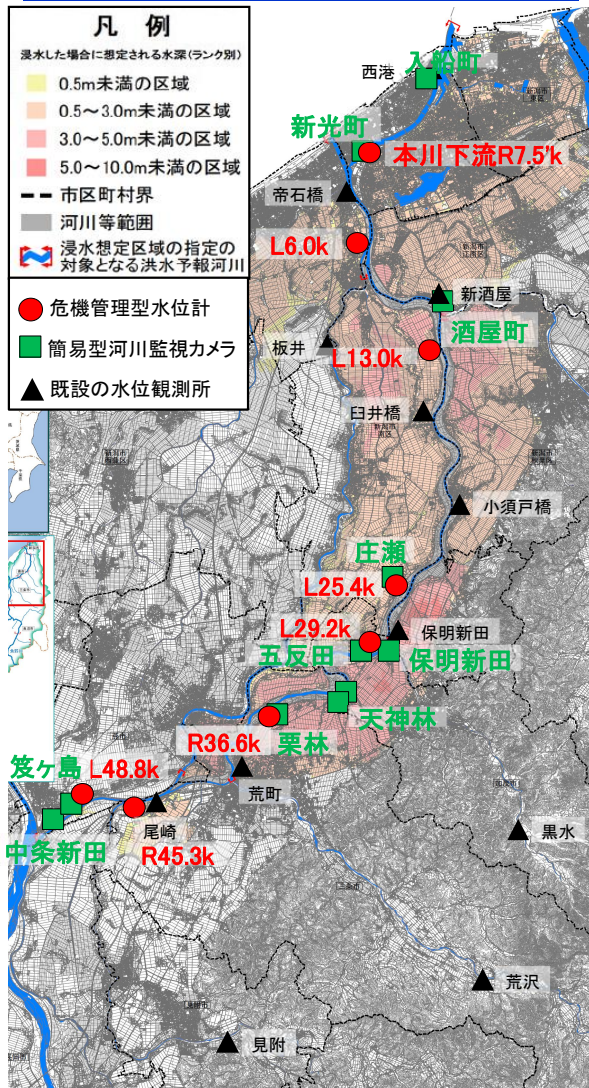


河川にゴミを捨てないで！ 令和6年度 信濃川下流河川事務所管内 ゴミマップ

避難行動等の支援の取り組み

- 川の状況をリアルタイムで把握できるよう『危機管理型水位計』『簡易型河川監視カメラ』を設置しています。
- 水位情報やカメラの映像は『川の防災情報』でご覧いただけます。
- また防災学習などの支援として、職員によるマイ・タイムライン作成支援講習会や出前講座を実施しています。

観測機器等の設置箇所



川の防災情報(表示例:パソコン画面)



水位や川の状況情報をリアルタイムで確認できます。

川の水位変動をグラフで確認できます。



<https://www.river.go.jp>

水防災教育等の取り組み

マイ・タイムライン

- ・流域市町の住民を対象に、避難行動の一助とすべく、マイ・タイムライン作成支援講習会を実施しています。



マイ・タイムラインについての詳細は国土交通省ホームページをご覧ください。
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

出前講座

- ・地域の小中学校や各種団体に対し、信濃川下流の河川や海岸に関する出前講座や総合学習の支援を実施しています。

- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進してきた。
- 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ(浸水頻度図)」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進していく。

■目標

信濃川下流域における外水氾濫及び内水氾濫※を対象とした、「水害リスクマップ」及び「多段階の浸水想定図」を整備する。

※内水氾濫の対象範囲は国管理河川の氾濫域内

■当面の取り組み

国直轄の信濃川下流本川からの外水氾濫を対象とした、水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図をR4.12.14に公表済み。

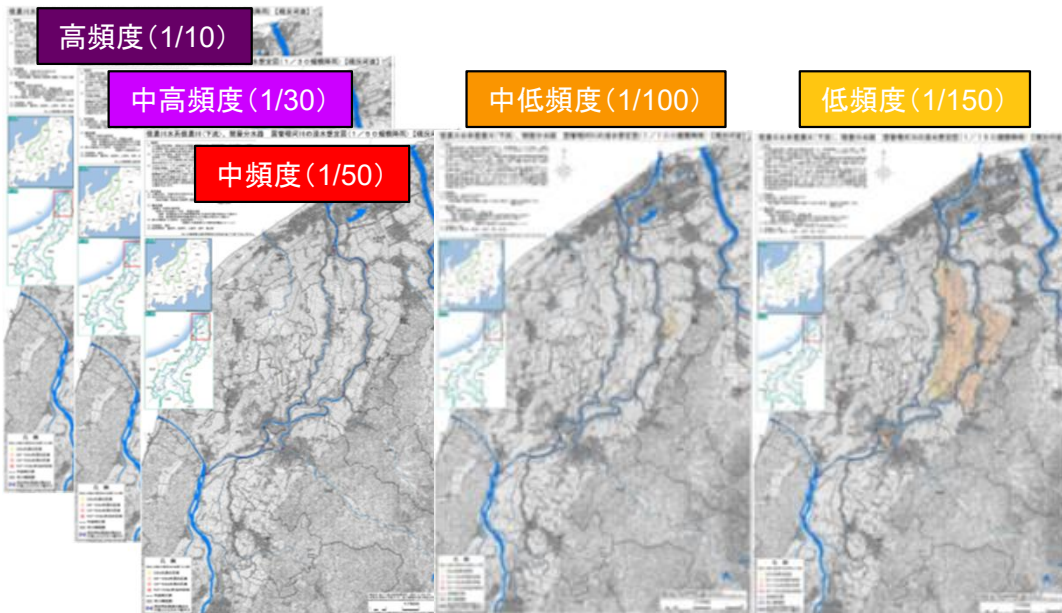
R8.3.11に田上町エリアの水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図を公表。引き続き、他の地域も公表に向けて鋭意検討中。

■多段階の浸水想定図

各整備段階において、降雨(流量)規模別に作成した浸水想定図

※整備段階:現況、短期、中期、中長期

※降雨規模別:1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模

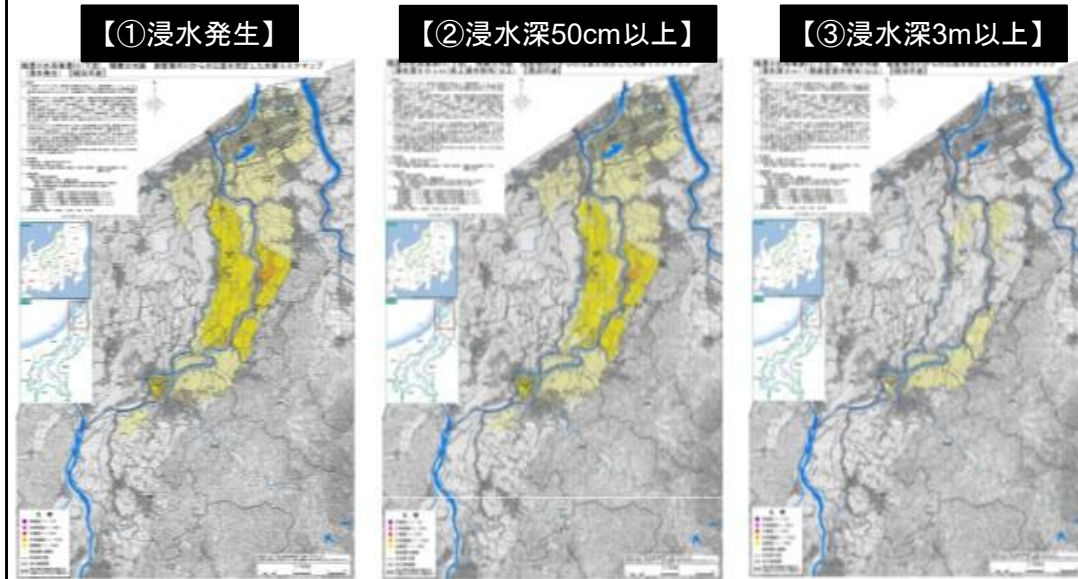


信濃川下流本川の外水氾濫を対象とした多段階の浸水想定図【現況河道】

■水害リスクマップ

浸水深別に、各整備段階において、降雨(流量)規模の浸水想定図を重ねあわせた図

※浸水深別:【①浸水発生】／【②浸水深50cm(床上浸水相当)以上】
／【③浸水深3m(1階居室浸水相当)以上】



信濃川下流本川の外水氾濫を対象とした水害リスクマップ【現況河道】

○ 信濃川下流河川事務所の若手職員と、関屋出張所管内の工事または業務を担当する若手技術者により、「**関屋モリ上げ隊**」を結成し、官民の垣根を越え、「**技術力向上**」、「**建設業PR**」、「**地域貢献活動**」を目的として、様々な活動に取り組んでいます(平成29年度より毎年実施)。

技術力向上



北陸技術DXセンター見学



大河津分水現場見学



海岸工事現場見学

建設業PR



アルビレックス新潟レディース
コラボ出前授業

地域貢献活動



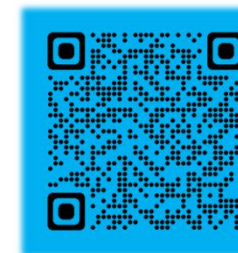
地域の小学生と花文字花壇づくり



信濃川クリーン作戦

活動のPR

- ・ X(エックス)
- ・ 関屋分水資料館にてモリ上げ隊紹介



公式X(エックス)QRコード
@sekiyamoriage



- 「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」は、河川敷地占用許可準則の緩和措置を活用して、民間事業者による商業活動等と一体となって水辺に更なる賑わいを創出することで、川とまちが一体となった魅力的なまちづくりを推進し、観光振興や地域活性化に貢献しています。
- 平成29年度からは、アウトドアメーカーが区域全体のマネジメントを担い、オープンカフェやBBQなどの飲食店等が出店しています(令和7年は6月21日(土)～9月23日(火)に開催)。令和8年には10周年の節目の年を迎えるため、更なる賑わい創出・やすらぎ堤のPRのための取組が予定されています。

<都市・地域再生等利用区域>
萬代橋～八千代橋の水面を含む区域

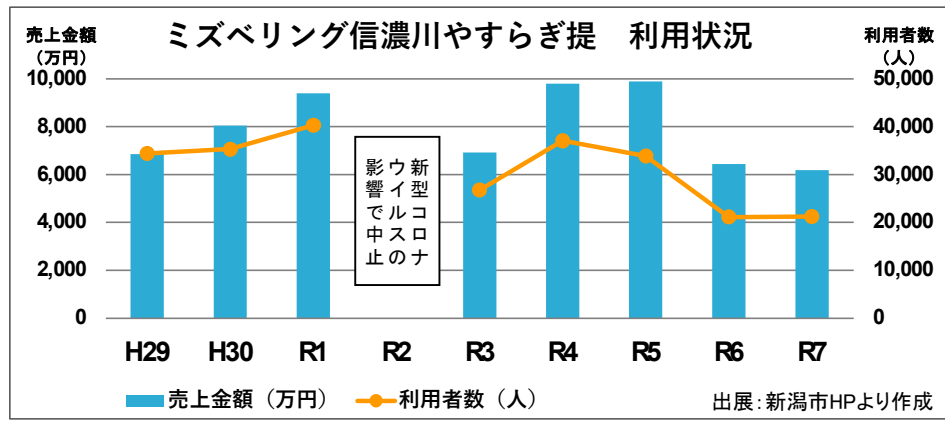
約18ha

■ 利用区域指定
■ 河川堤防区域

平成28年2月に萬代橋から八千代橋の水面を含む区域が「都市・地域再生等利用区域」に指定、民間事業者による企業活動が可能。

R7年度 店舗数	右岸:6
----------	------

■ 令和7年の実施状況



■ 令和7年オープニングセレモニー(6/21)





信濃川下流河川事務所

X (旧Twitter)公式アカウント

防災情報や記者発表、日々の業務の様子などを発信しています。



YouTube公式チャンネル

関屋分水の紹介動画や施策に関するセミナー開催の様子などを発信しています。



関屋分水資料館

関屋分水の歴史や役割をわかりやすくパネルなどで知ることができます。

- ・所在地 新潟市西区関屋1827-39
- ・開館時間 4～10月 (9:00～19:00)
11～3月 (9:00～16:30)

